

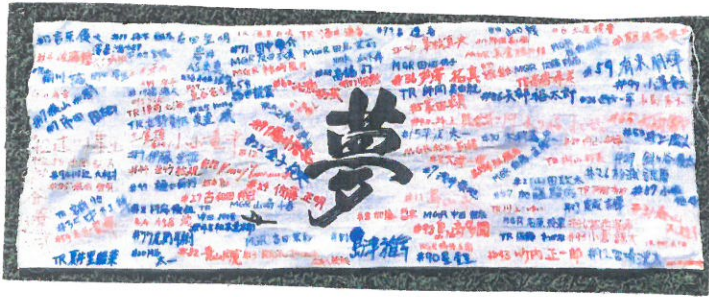
# Raccoons Dream Day



## <Raccoons Dream Day>

試合会場にお越し頂いた皆様、ありがとうございます。  
 本日の日本体育大学戦は、目標である「甲子園ボウル勝利」のために絶対に負けられない1戦です。チーム一丸となって戦って参りますので、温かいご声援宜しくお願いします！

8月26日に行われた決意表明の場で、後援会の皆様から、必勝祈願の夢手ぬいを頂きました。下の写真はチーム全員で名前を書いた手ぬいです。

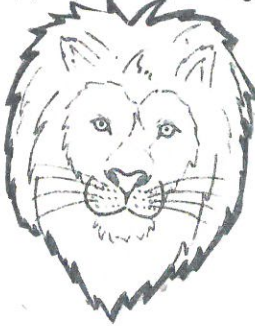


受付に展示してありますので、ぜひご覧下さい。  
 併せて、制作の様子はラウーンズのInstagram、Facebookに投稿しましたのでこちらもご覧頂けると嬉しいです！  
 ラウーンズの悲願の夢である日本一に向け、オールラウーンズ一体となり、日本体育大学に勝利しましょう！  
 皆様、熱いご声援をお願いします！

## <今までの日本戦>

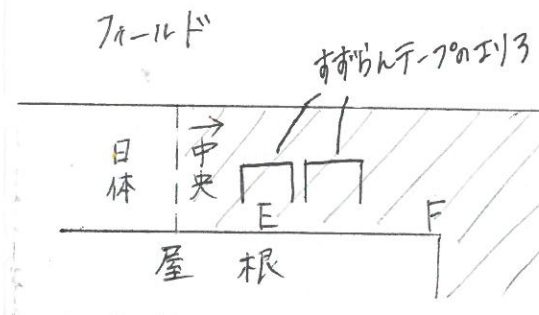
- 2014秋 0 17 (TB 9-6) 17 ●
- 2015秋 0 33 - 13 ●
- 2016秋 0 3 - 0 ●
- 2017秋 0 6 - 0 ●

日本体育大学といえば、フットボール揃いのチームである。  
 そんなチームを引く張るのが井ノ井 小林選手(4年・QB)だろう。  
 163cmと小柄ではあるが、1年次から試合に出ており、落ちついたプレイでテンポよくヤードをゲインしていく。そんな日本戦だが、  
 近年の試合では、1TD-1FG差とかなり僅差の試合が繰り返されている。

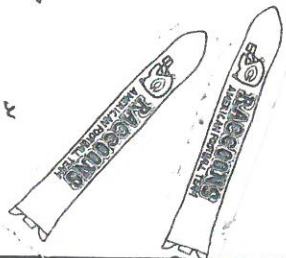


2017年秋の試合では、台風の影響でフィールド全体が池のような状況での試合だった。  
 そんな大雨の中、両校共にセオリー破りのパスプレイ、ディフェンスも水しぶきで上げながらのタックルと臨場感に溢れていた。本日の日本戦は、功利的な日本オフェンスと阻むDB-LBの活躍は必須である。しかし、特に注意して頂きたいのは、キッカーやスロージャイスト達だ。  
 実力の拮抗しているTOP8において、1回のキックはとて重要な意味を持つ。  
 本日の試合も例外ではなく、接戦が予想されるこの試合でTD後のTFP、FGでのスコアやキックやPUNTでのフィールドポジションも試合に大きく影響を与える。  
 「100%の当たりに前、スロージャイスト達にぜひ注目して下さい！」

## <観戦場所について>



本日のラウーンズ観客席はフィールドに向かって「右側」になります。  
 EF入口付近の黄色のすばらとテ-70のエリ-には入らないようご協力をお願いします。  
 また、本日もチ-スライ-は試合後に回収となります。  
 皆様ご協力お願い致します！



## <第1節 慶應義塾大学戦 戦評>

9月1日(土) 悪天候の中、行われた慶應戦。ラウーンズの初戦、そして2018年秋季リーグ戦の開幕戦ということもあり、600人以上のサポーターの皆様に見守られ、2018年ラウーンズの幕が上がった。

曇天の中始まった試合。最初のドライブで慶應オフェンスにリードを許してしまう。その後1Qは両校共にバトが続いた。向えた2Q、中央オフェンスが炸裂。自陣10ヤードのフィールドポジションの悪し中、7分のドライブの末#3大津(2年・RB)が11ヤードを走り抜け、TD。前半は勝着状態が続き、ワークの持後半へ。3Q開始すぐに慶應#13にパスが通り、7-14と均衡が崩れた。しかし、その後のディフェンスで#7浅井(4年・DB)がパスインターセプト。一気に流れを取り戻したラウーンズは#9伊藤(2年・QB)から#4佐藤(4年・WR)へloydのパスが通り、14-14の同点。その後#15平沢(3年・LB)のロスタックルなどディフェンスを見せるが、3Q残り2分のところで、慶應#83へのパスを許してしまう。14-21と慶應が先リード。  
 試合はその持ち4Qへの4Q開始4分、昨年度NO.1ディフェンスの中央が魅せた。



#1池田(4年・DL)、#15平沢などのロスタックルで慶應オフェンスを阻む。  
 #1池田のQBサックに成功し、慶應のファンブルをすかさず#90屋(3年・DL)がリカバー。ターンオーバー。その後、今季活躍間違いない#87小坂(3年・WR)が粘り強(キ-チ)を続け、ゴール前へ持ち込む。そして、#8加藤(4年・QB)から#81島津(4年・TE)への19ヤードのパスでTD。  
 主将#99川西(4年・OL)を筆頭にOLユニットがQBを守り抜き、掴んだ1プレイ、4年生の意志が感じられた。スコアは21-21の同点、試合残り1:37のところで慶應へ攻撃権が渡る。中央ディフェンスも果敢に慶應に襲いかかるが、慶應が敵陣29ヤードまでボールを進め、FGを試みる。中央はフィールド、サイドライン、スタンドが一体となり、プレッシャーをかけるが、慶應#9が46ヤードのFGを決め、試合終了。あし歩のところで敗戦という無念のスタートではあったが、オールラウーンズという言葉を強く実感した試合であった。



Photo by Yuko Tanabe

## <2018年度ポスター>

本日プレゼントさせて頂いたポスターに載っている選手のプロフィールをご紹介させていただきます！

**佐藤 陸 Sato Riku**  
 #4(4年WR) 川越東高校出身。  
 安定感のあるキ-チで今年度オフェンスローカー「SCOPE」を体現。オフェンスリーダーとして存在感を放つ。慶應戦でTDを獲得した実者。



**伊藤 圭吾 Ito Keigo**  
 #9(4年QB) 中央大学附属高校出身。  
 2年生時からスター出場を果たす若手のホ-。試合を重なるごとに成長していくラウーンズの立役者となる選手。

## <Raccoons Accounts>

- o Homepage [cu.raccoons.com](http://cu.raccoons.com)
- o Facebook @cu.raccoons  
 中央大学RACCOONS
- o Instagram @chuo-raccoons  
 中央大学フットボール部 RACCOONS

## <2018年度 秋季リーグ戦 試合結果>

中央大学			
早稲田大学	0 23 - 15 ●	●	日本体育大学
法政大学	● 14 - 16 ○	○	明治大学
立教大学	○ 17 - 3 ●	●	慶應義塾大学
法政大学	○ 23 - 10 ●	●	日本体育大学
早稲田大学	○ 42 - 32 ●	●	明治大学

次節  
 vs 明治大学 GRIFFINS 10月(日)  
 10:45 K.O @ 富士通スタジアム川崎